

コンパクトディスクプレーヤー  
**CDJ-100S**



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。

なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目次

**ご使用の前に**

**安全上のご注意** ..... 2

設置上のご注意 ..... 3

オペレーションガイド ..... 4

各部の名称と働き ..... 5

接続のしかた ..... 6

**基本操作 I**

ディスクの入れ方・出し方 ..... 8

普通のCDプレーヤーとしての操作編 ..... 9

    オートキュー機能をオン/オフするには ..... 9

    基本再生操作 ..... 9

    演奏を終了するには ..... 9

    演奏を一時停止するには ..... 9

    スキップするには ..... 9

    早送り/早戻しするには ..... 9

**基本操作 II**

DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編 ..... 10

    オートキュー機能をオンした場合の再生操作 ... 10

    フレーム単位で頭出しするには ..... 10

    キューポイントの設定 ..... 10

**応用操作**

DJ必須テクニック編 ..... 11

    ジョグダイヤルの5つの機能をマスターしよう .... 11

    マスターテンポをかける ..... 11

    デジタルジョグブレイクを使う ..... 11

    頭出しのテクニックあれこれ ..... 12

    フェーダースタートプレイを楽しむ ..... 12

    2台のプレーヤーを使ったリレープレイ ..... 12

    違う曲どうしをミックスする(つなぎ) ..... 13

**その他**

故障? ちょっと調べてください ..... 14

    エラー表示 ..... 15

仕様 ..... 15

保証とアフターサービス ..... 16

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。



図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

# 安全上のご注意

(別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### 〔異常時の処置〕

- 万一煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

## ディスクの取り扱いについて

右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。それ以外のディスクを使用すると故障の原因となることがあります。



- 信号面をさわらないようにしてください。



- レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



### ■ 特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用ならないでください。



### ■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場合や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

### ■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。



- ディスクの清掃には、別売のディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

### [For Canadian model]

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

### [Pour le modèle Canadien]

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

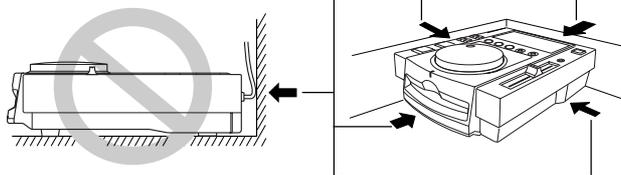
H009 2L

## 設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではプラスチックパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。

振動している場所に接触させないでください！



### 結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

### 製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ■ CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「アフターサービスについて」(裏表紙)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

### ディスクの強制排出について

イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、フロントパネル前面の強制イジェクトホールに付属のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。

強制排出を行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

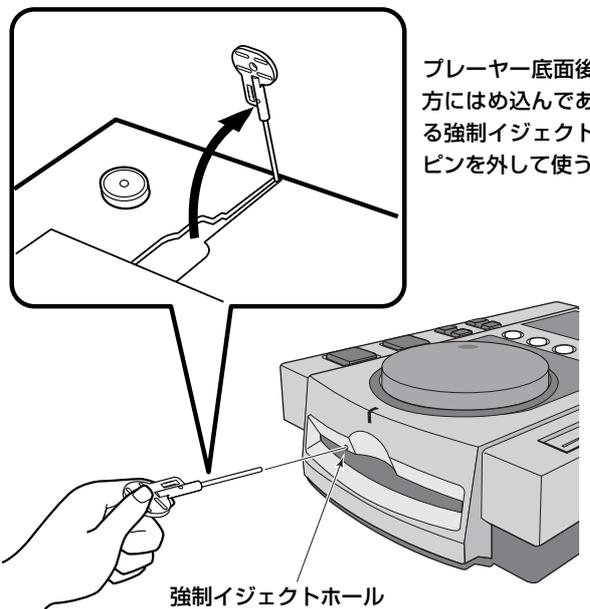
- ① 必ずCDプレーヤーの電源を切り、ディスクの回転が停止したことを確認してから行って下さい。電源を切ってからディスクの回転が停止するまで、約30秒ほどかかります。

#### ⚠️ ディスクの回転中に強制排出を行った場合、

- ディスクが回転したままCDプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険がある。
  - ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付く。
- などの可能性がありますので、ディスク回転中の強制排出は絶対に行わないでください。

- ② 必ず付属のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。付属のピンは底面後方にはめ込まれています。

付属のピンを強制イジェクトホールに根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口より5~10mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。



プレーヤー底面後方にはめ込んである強制イジェクトピンを外して使う

強制イジェクトホール

# オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、さらにCDならではの機能を付加した、DJ向けコンパクトディスクプレーヤーです。

## DIGITAL JOG BREAK

オリジナルな音の演出ができるデジタルジョグブレイク搭載。

3つのボタンにそれぞれ異なったリミックスアシスト機能 [JET]、[ZIP]、[WAH]を搭載。好きな機能を選択し、曲に合わせてジョグダイヤルをコントロールすれば、新たなリミックスの世界が広がります。

## JOG DIAL

アナログターンテーブル感覚でビートのズレが補正できる直径100mmの大型ダイヤル。

指先でぐるっと回転させるだけで、頭出ししたいポイントがフレーム(1/75秒)単位ですぐ見つけられます。

また、このジョグダイヤルを使って通常のサーチやトラックサーチより速い“スーパー・ファースト・サーチ”や“スーパー・ファースト・トラックサーチ”ができます。

## TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる、長さ100mmのロングストローク高性能スライダー。

0.1%単位のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。(可変範囲±10%時)

### ● TEMPO CONTROL RANGE

最大可変範囲が±10%(0.1%ステップ)と+10~-16%(0~+10%: 0.1%ステップ、0~-16%: 0.2%ステップ)の2段階に設定でき、より使いやすくなりました。

## QUICK START

ポーズ状態からボタンを押すと瞬時にスタート(0.01秒以下)。

通常のCDプレーヤーは、ポーズ状態から音が出るまで最大0.3秒かかりますが、このタイムラグがほとんどなくなり、曲つなぎもスムーズに行えます。

## MASTER TEMPO

音程を変えないで曲のスピードを変えられる。

アナログで曲のテンポを変えると音程も変わってしまいますが、デジタルならではの機能で曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

## PLAYING ADDRESS

演奏曲の経過時間や残り時間を直観的に把握できるバーグラフ表示。

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わることを警告します。

## SLOT IN

ディスクの再生、交換、取り出しが素早くできるスロットメカ採用。

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

## CUE

キュー機能の充実。

### ● BACK CUE機能

音出しした後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからスタート。

一度頭出ししたポイントにボタンひとつで何回でも戻れ、瞬時のBACK CUEを実現しました。

### ● AUTO CUE機能

曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイ。

プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

### ● CUE POINT SAMPLER機能

メモリーしたキューポイントから、最大1分の音をワンタッチで再生。

頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

## FADER START

DJミキサーのフェーダーでQUICK STARTやBACK CUE。

DJミキサー-DJM-500(別売)、DJM-600(別売)またはDJM-300(別売)と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりQUICK STARTやBACK CUEが行えます。

## RELAY PLAY

2台のCDJ-100Sを接続して自動交互再生。

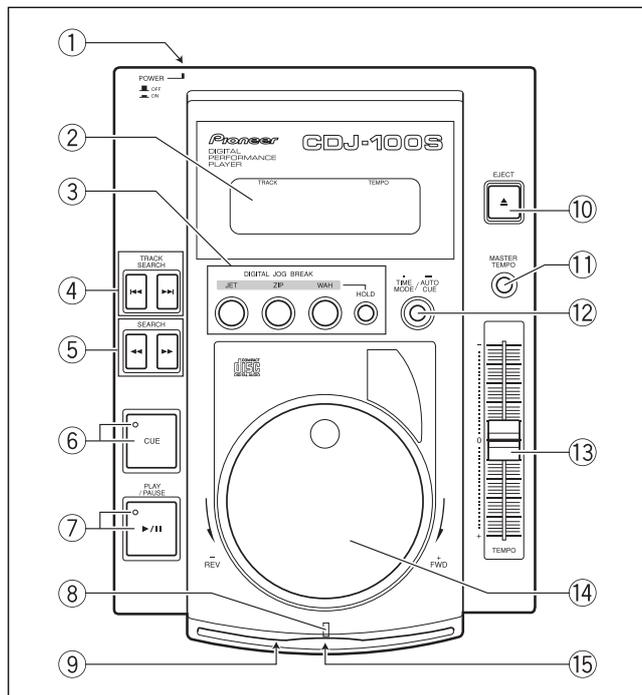
一方の曲が終わると同時にもう一方のスタンバイ状態が解除され、瞬時に自動的に曲がスタートします。

## OIL DAMPER FLOAT

振動・衝撃に強いオイルダンパーフロート構造採用。

再生中の操作による衝撃や床からの振動などが加わっても音飛びの発生しにくいオイルダンパーフロート構造を採用しました。

# 各部の名称と働き



- ① 電源スイッチ(POWER) 本機の後面にあります。
- ② 表示部⇒ 右図参照
- ③ デジタルジョグブレイクボタン  
(DIGITAL JOG BREAK; JET, ZIP, WAH, HOLD) ⇒ P. 11
- ④ トラックサーチボタン  
(TRACK SEARCH: ◀◀、▶▶) ⇒ P. 9
- ⑤ サーチボタン  
(SEARCH: ◀、▶) ⇒ P. 9、P. 12
- ⑥ キューボタン(CUE)とインジケーター  
【キューポイントの設定】⇒ P. 10  
【バックキュー】⇒ P. 12  
【キューポイントサンプラー】⇒ P. 12  
【キューポイントの修正】⇒ P. 12
- ⑦ プレイ/ポーズボタン(▶/||)とインジケーター⇒ P. 9
- ⑧ ローディングインジケーター  
ディスク挿入口からディスクを出し入れ中に点滅し、ディスクが中にあるときに点灯します。
- ⑨ 強制イジェクトホール⇒ P. 3
- ⑩ イジェクトボタン(EJECT)  
ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
- ⑪ マスターテンポボタン(MASTER TEMPO)⇒ P. 11
  - 押すたびに、マスターテンポ機能をオン/オフします。
  - ボタンを2秒以上押し続けると、テンポ調整つまみの可変範囲を切り換えます(±10%/+10%~-16%)。切り換えると約2秒間、表示部に設定レンジを数字で点滅表示します(10.0/16.0)。
  - 電源オン時の可変範囲は±10%になります。
- ⑫ タイムモード/オートキューボタン  
(TIME MODE/AUTO CUE)  
押すたびに、表示部の時間表示が現在の演奏曲の経過時間と残り時間(REMAIN)に切り換わります。
  - 電源オン時はREMAIN表示になります。

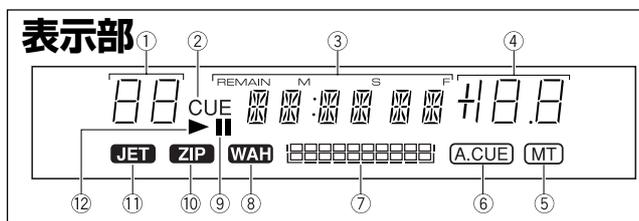
【オートキュー機能のオン/オフ切替】⇒ P. 9

1秒以上ボタンを押し続けるとオートキュー機能をオン/オフします。

オートキュー機能：ディスクをセットした時とトラックサーチの時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定(P. 10)を自動的に行う機能です。

- 電源オン時はオートキュー機能はオフになります。

- ⑬ テンポ調整つまみ(TEMPO)  
センタークリック位置(通常演奏テンポ)を中心に、手前に動かすと速くなり、奥に動かすと遅くなります。
- ⑭ ジョグダイヤル(+FWD/-REV)⇒ P. 11
- ⑮ ディスク挿入口⇒ P. 8  
ディスクのレーベル面を上にして挿入します。
  - 8 cmディスク使用時は、付属のCDアダプターをディスクに装着して挿入します。



- ① トラックナンバー表示  
演奏中のトラックナンバーを表示します。
- ② キューインジケーター(CUE)  
キューポイント入力可能時に点滅し、入力後は点灯します。
- ③ 時間表示  
現在の演奏曲の経過時間(REMAIN消灯時)、または演奏曲の残り時間(REMAIN点灯時)を分(M)・秒(S)・フレーム(F)で表示します。
- ④ 演奏速度表示  
テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を、±10%レンジでは、0.1%ステップで表示します。  
+10% ~ -16%レンジでは、0~+10%までを0.1%ステップで、0~-16%までを0.2%ステップで表示します。
- ⑤ マスターテンポインジケーター(MT)  
マスターテンポ機能をオンすると点灯します。
- ⑥ オートキューインジケーター(A.CUE)  
オートキュー機能オン時に点灯します。
- ⑦ 演奏位置表示  
演奏曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。
  - ディスクが無い時 ..... 消灯
  - 経過時間表示の時 ..... 全消灯の左端から順次点灯
  - 残り時間表示の時 ..... 全点灯の左端から順次消灯
  - 曲の残りが30秒以下 ..... 点滅
- ⑧ WAHインジケーター  
WAH機能がオンのときに点灯または点滅します。⇒ P. 11
- ⑨ ポーズインジケーター(⏸)  
ポーズのときに点滅します。
- ⑩ ZIPインジケーター  
ZIP機能がオンのときに点灯または点滅します。⇒ P. 11
- ⑪ JETインジケーター  
JET機能がオンのときに点灯または点滅します。⇒ P. 11
- ⑫ プレイインジケーター(▶)  
プレイのときに点灯します。

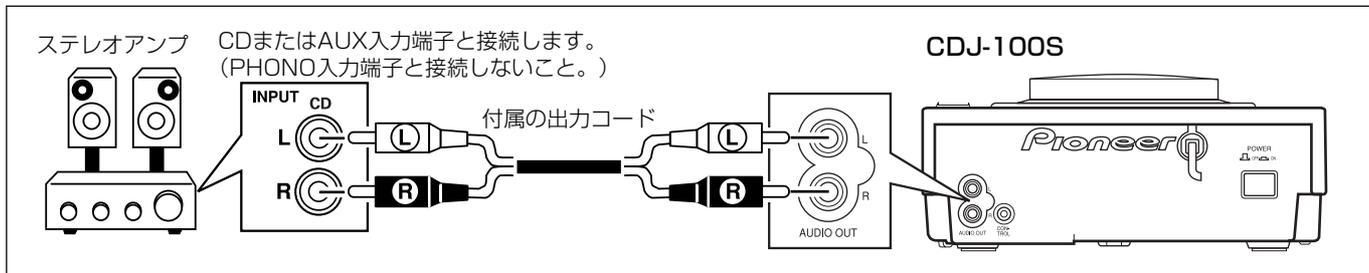
# 接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

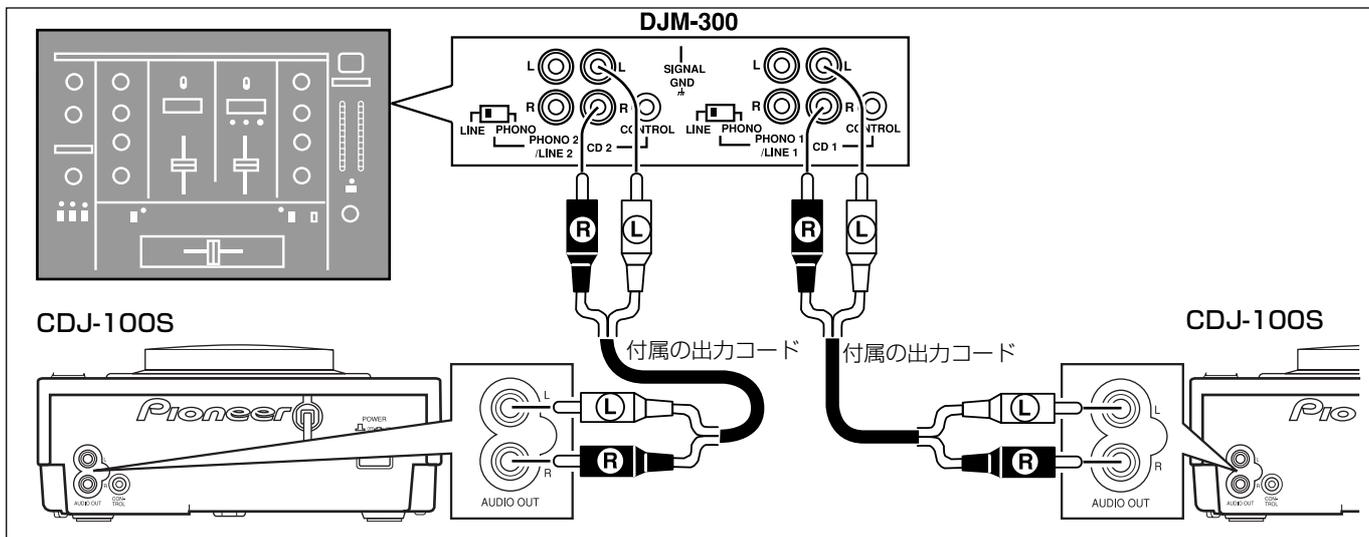
## 1. 音声出力の接続

### ① ステレオアンプとの接続(DJミキサーを使わない場合)

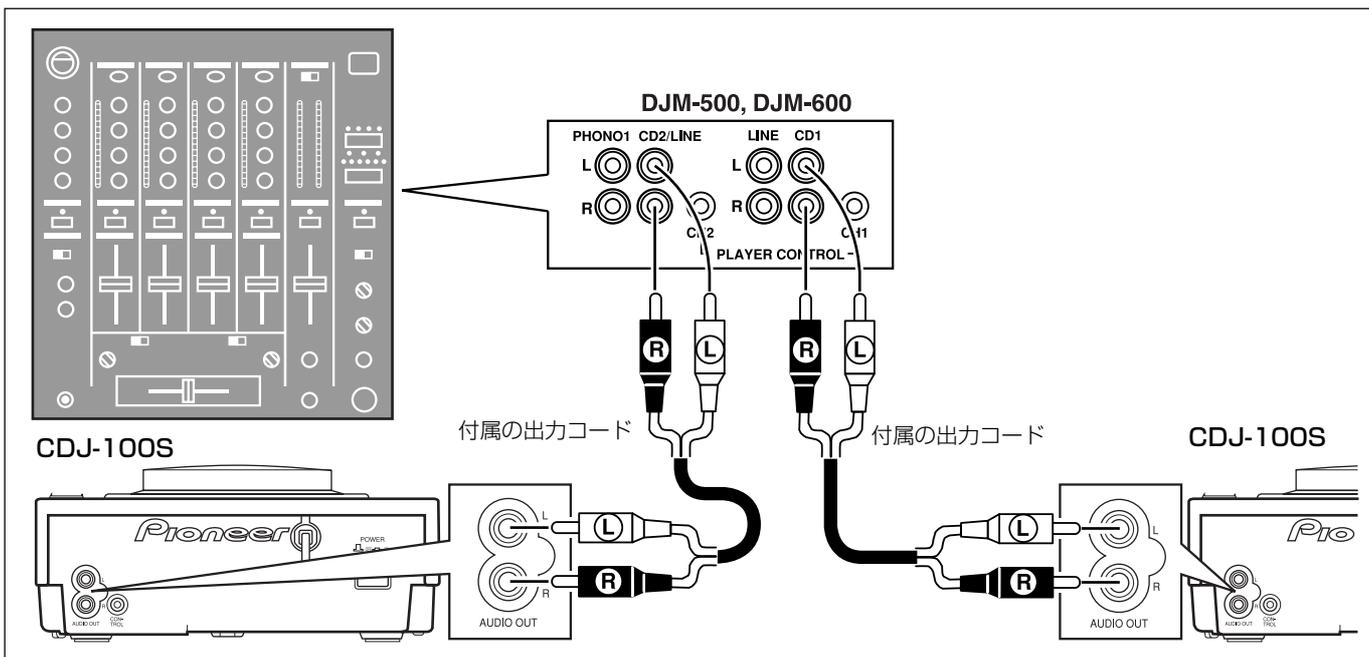
付属の出力コードを使って、白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。



### ② DJミキサーDJM-300との接続



### ③ DJミキサーDJM-500、DJM-600との接続



### ④ その他のミキサーとの接続

本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。

● ミキサーのMIC(マイク)端子とは接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。

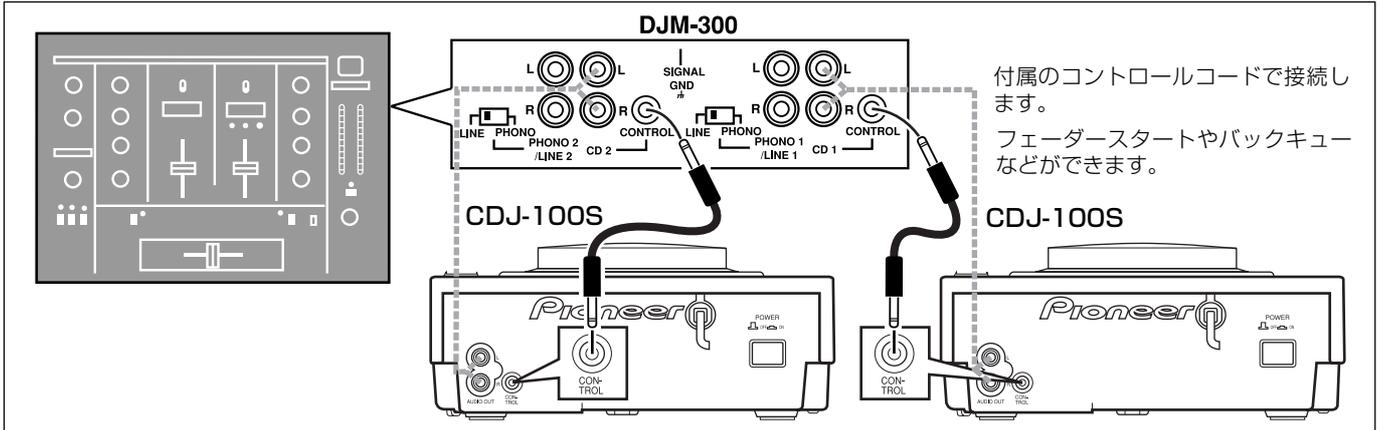
## 2. コントロール端子の接続

CONTROL端子を付属のコントロールコードで接続するとフェーダースタートプレイやリレープレイ(P.12)ができます。

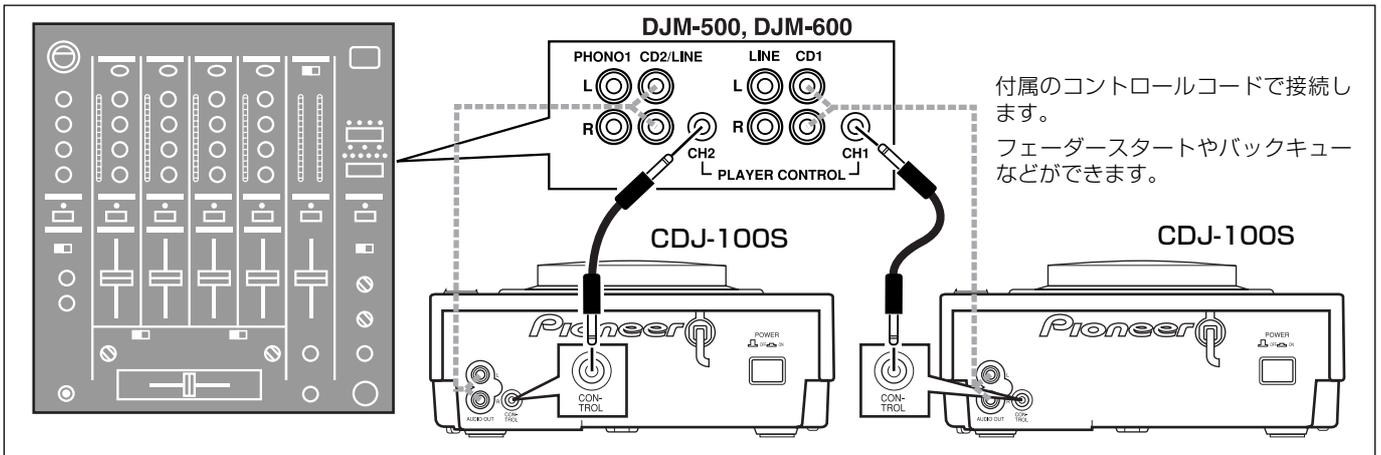
### ご注意

フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。

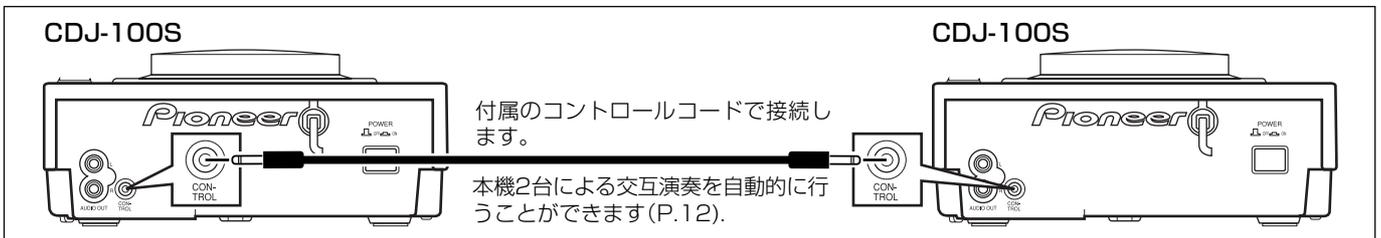
### ① DJミキサーDJM-300でフェーダースタートプレイをするとき



### ② DJミキサーDJM-500、DJM-600でフェーダースタートプレイをするとき



### ③ リレープレイをするとき



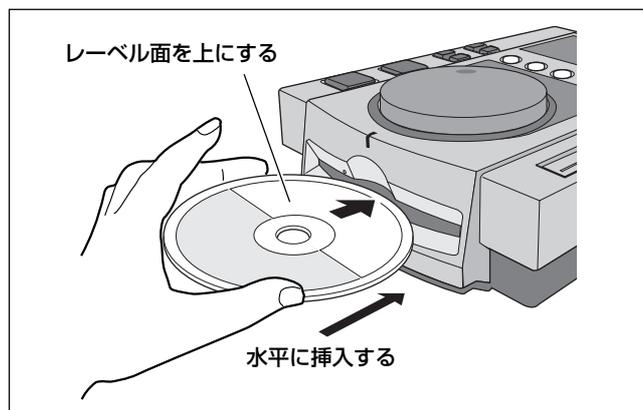
## 3. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら電源コードを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

### ご注意

ディスクが回転している時に電源スイッチを入り切りしたり電源コードを抜き差しすると、まれに正常に動作しない場合があります。このような時は、一度イジェクトボタンを押して一旦ディスクを止めてから再度プレイすることにより正常に動作ようになります。

# ディスクの入れ方・出し方



## 1. 後面の電源スイッチをオンにする。

● 電源スイッチがオフの状態でもディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

## 2. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- 8cmディスクの場合は付属のアダプターを装着してください。

- 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

## 3. EJECTボタンを押して、ディスクを取り出す。

- ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
- イジェクトボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、フロントパネル前面の強制イジェクトホールに付属のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。⇒ P. 3

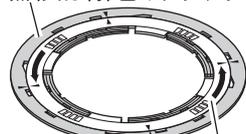
**ご注意**  
「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

## 8cm CDを付属の8cm CDアダプターまたは別売の8cm CDアダプター「JD-8CM」にセットする

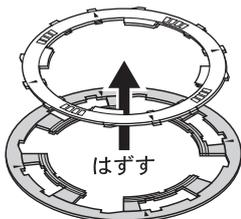
CDシングル(8cmディスク)を再生するときのご注意

- ① CDシングル(8cmディスク)を再生するときは、必ず付属の8cmCDアダプターを使用してください。CDプレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8cmディスクを挿入したときは、直ちにイジェクトボタンを押してディスクを取り出してください。イジェクトボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。
- ② 8cmディスク用アダプターは  マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

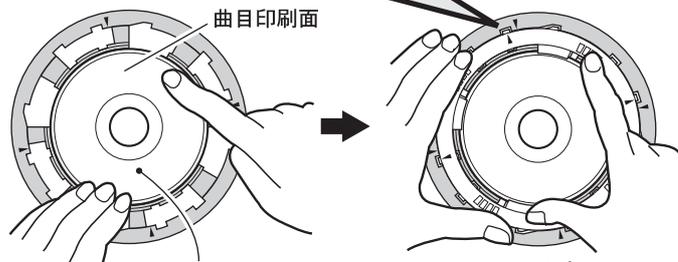
黒(又は青)色のアダプター



灰(又は白)色のアダプター  
「はずす」の矢印方向に回す



曲目印刷面



外しかた

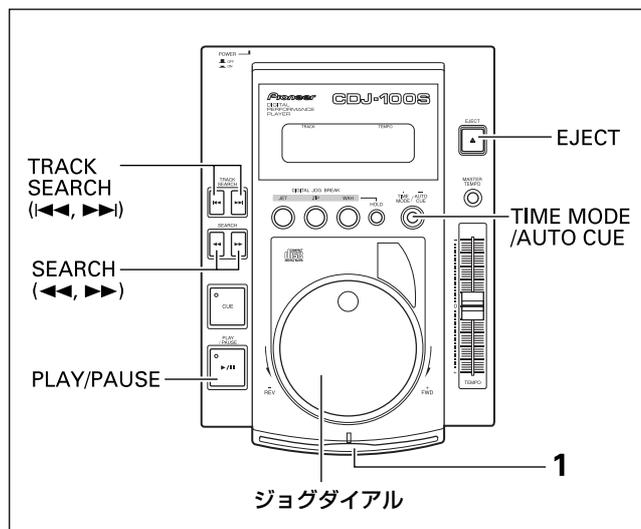
1. 灰(又は白)色のアダプターを外す。
2. 黒(又は青)色のアダプターから8cm CDを外す。
3. 灰(又は白)色のアダプターを元通りはめておく。

別売: JD-8CM  
(5枚組)  
¥1,800

**ご注意**

- 灰(又は白)色のアダプターが黒(又は青)色のアダプターに乗り上げていないこと。
- 8cmアダプターと8cm CDが平らになっていること。
- 8cmアダプターまたは8cm CDが正しく取り付けられていないと故障の原因になりますのでご注意ください。
- 黒(又は青)色のアダプターから灰(又は白)色のアダプターを外さずに8cm CDを取り付けしないでください。
- 8cm CDアダプターのみで使用しないでください。故障の原因になります。

# 普通のCDプレーヤーとしての操作編



## オートキュー機能をオン/オフするには

TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン/オフできます。

表示部のオートキューインジケータ(A.CUE)が点灯するとオンです。

## 基本再生操作

オートキュー機能オフ時(表示部のA.CUEインジケータ消灯)の基本再生操作です。

### 1. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に挿入してください。⇒ P. 8
- 8cmディスクの場合は付属のアダプターを装着してください。⇒ P. 8
- 装着できるディスクは1枚のみです。

### ご注意

「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

### 2. 一曲目から演奏が自動的に始まります。

- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に演奏を続けます。
- 最終曲の演奏が終ると、演奏を終了します。

## 演奏を終了するには

EJECTボタンを押す。

- 演奏を終了し、ディスクが出てきます。
- 本機にはストップボタンはありません。

## 演奏を一時停止するには

演奏中にPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。

- PLAY/PAUSEボタンのインジケータとキューインジケータ(CUE)が点滅し、演奏を中断します。
- もう1度PLAY/PAUSEボタンを押すと、ボタンのインジケータが点灯し、演奏を再開します。
- ポーズモード中も演奏音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ポーズ状態で80分以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSEボタンを押せば演奏を再開します。

## スキップするには

### ■ トラックサーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

TRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- 1回押す毎に、指定方向の曲にスキップします(演奏中に前の曲にスキップするには、続けて2回◀◀を押してください)。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲(トラックNo. 1)の始めで◀◀を押すと最終曲にスキップします。
- 最終曲から▶▶を押すと最初の曲(トラックNo. 1)をサーチします。

### ■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回転すると、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCHボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

## 早送り/早戻しをするには

### ■ サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

再生中にSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

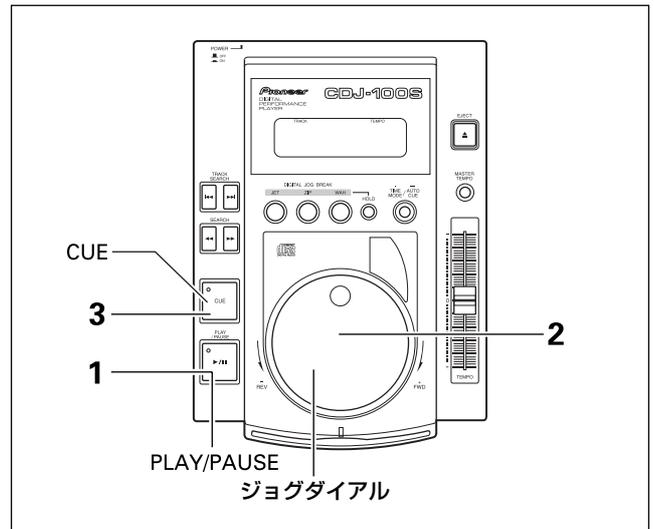
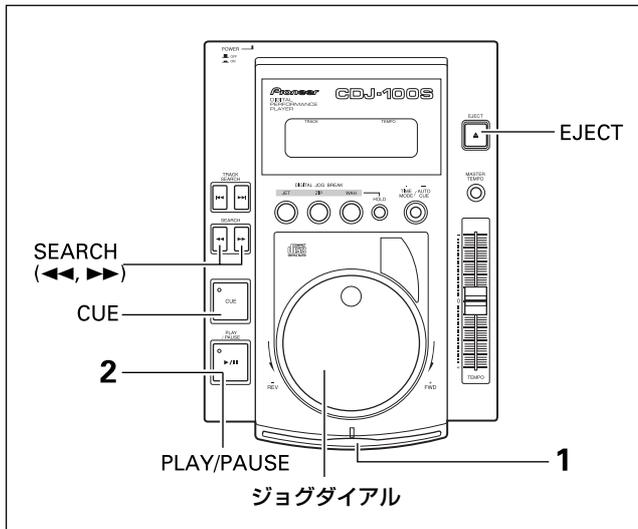
- ▶▶ボタンを押している間、早送りします。
- ◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

### ■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCHボタン(◀◀、▶▶)のどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回転すると、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCHボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCHボタンを離すと、このモードは解除されます。

# DJ用CDプレーヤーとしての基本操作編



## オートキュー機能をオンした場合の再生操作

オートキュー機能オン時(表示部のA.CUEインジケータ点灯)の基本再生操作です。

### 1. ディスクを入れる。

- ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に挿入してください。⇒ P. 8
- 8cmディスクの場合は付属のアダプターを装着してください。⇒ P. 8
- 装着できるディスクは1枚のみです。

### ご注意

「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECTボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

### 2. PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。

- CUEボタンのインジケータが点灯してから押してください。瞬時に演奏を始めます。

■ 1曲の演奏を終了すると、次の演奏曲の頭出しをします。キューインジケータ(CUE)が点灯し、PLAY/PAUSEボタンのインジケータが点滅して、演奏待機状態になります。

PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押すと次曲の演奏がスタートします。

## フレーム単位で頭出しするには

### ■ ジョグダイヤルによる操作

演奏中にPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して一時停止状態にし、ジョグダイヤルを回す。

- 1フレーム単位(75フレーム=1秒)で頭出しできます。

## キューポイントの設定

キューポイントをメモリーしておく、CUEボタンを押した時にキューポイントでスタート待機状態にすることができます。

### 1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押して一時停止状態にする。

### 2. ジョグダイヤルをゆっくり回転して、目的の位置を探す。

- キューポイントを、音声を聞いて決めるときは、演奏を開始したい音声の直前までジョグダイヤルで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

### 3. フレームナンバー、または音声が目次の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。

- 音声ミュートされ、キューインジケータ(CUE)が点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

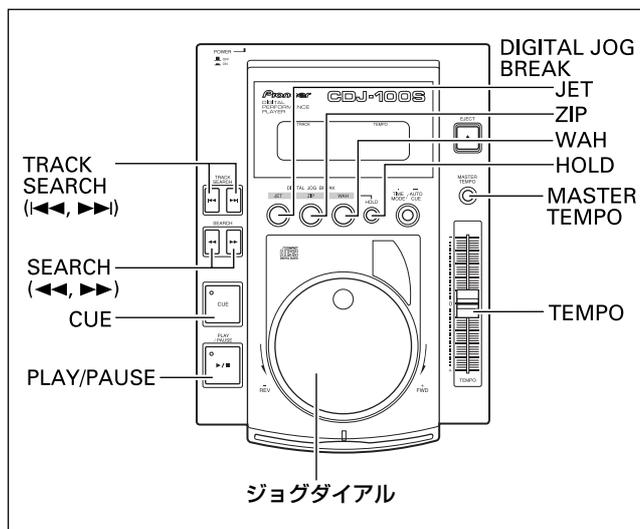
- ジョグダイヤルを時計方向に回すとプラス方向にサーチし、反時計方向に回すとマイナス方向にサーチします。
- ジョグダイヤルを1回転すると48フレーム送ります。

### ■ サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作

一時停止状態でSEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。

- 押す度に1フレームずつ指定の方向へ送ります。

# DJ必須テクニック編



## デジタルジョグブレイクを使う

再生中、デジタルジョグブレイクボタン(JET、ZIP、WAH)の1つを押すと、表示部の選択した効果のインジケータ(“JET”または“ZIP”または“WAH”)が点滅し、ジョグダイヤルの回転に応じて、それぞれの効果が変わります。

- ジョグダイヤルの回転を止めると、元の原因だけの状態に徐々に戻っていきます。

### JETとは、

ジョグダイヤルの回転に従い、ディレイタイムを変化させて再生音にショートディレイをミックスします。今までのDJテクニックの中で、2台のプレーヤーで同じ曲を同時にスタートさせて、片方を少しずらしてミックスさせ、ジェット機の音のような効果音を出すというテクニックがありますが、それをこのJETで簡単に再現できます。

### ZIPとは、

ジョグダイヤルの回転に従い、再生音のピッチを変化させて強烈に曲調を変えることができます。ピッチが下がる方向に回し続けると、あたかもアナログレコードの回転を止めるような効果音を演出することができます。

### WAHとは、

ジョグダイヤルの回転に応じて、カットオフ周波数が変化するフィルターを再生音に付加します。再生音から、あるパートを抜き出して、その部分だけ再生させるというような演出もできます。

## HOLD機能の使い方

デジタルジョグブレイク機能を使用中にHOLDボタンを押すと、表示部の“JET”、“ZIP”、“WAH”インジケータが点滅から点灯に変わり、ジョグダイヤルの回転をやめても、それぞれの効果は継続されます。

- HOLD機能がオンしているときは、時間表示部に一定間隔でHOLD表示\*が行われます。

### 【HOLD表示\*】

JETをHOLD時 ..... J-HOLD  
 ZIPをHOLD時 ..... Z-HOLD  
 WAHをHOLD時 ..... W-HOLD

## ジョグダイヤルの5つの機能をマスターしよう

- 再生中、ゆっくりと回転する。
  - 回転させた分、加速(FWD+)・減速(REV-)します。
  - 回転をやめると、回転前のスピードに戻ります。
- ポーズ時、ゆっくりと回転する(フレームサーチ)。
  - 1フレーム単位でサーチします。
  - FWD+の方向へ一定の早さで回転すると、再生音(1倍速)になります。
- キュー待機時、サーチボタンを押してから回転する(キューポイントサーチ)。
 

キュー待機中、SEARCHボタン(◀◀, ▶▶)を押すと音出しポーズになり、ジョグダイヤルを回すとキューポイント候補をサーチできます。移動後、CUEボタンを押すと、新しいキューポイントができます。
- トラックサーチボタンを押しながら回転する(スパー・ファースト・トラックサーチ)。
 

TRACK SEARCHボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチしたい方向に回転すると、回転方向と回転量に従ってさらに高速なトラックサーチをすることができます。
- 再生中、サーチボタンを押しながら回転する(スパー・ファースト・サーチ)。
 

SEARCHボタンを押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回転すると、回転方向にさらに高速でサーチします。

## マスターテンポをかける

- 再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。
  - 表示部の“MT”が点灯します。
- TEMPOつまみでプレイスピードを変える。
  - スピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

## 頭出しのテクニックあれこれ

### ■ 頭出しポイントを確認するには (キューポイントサンプラー)

頭出しポイントを設定後、CUEボタンを押す。

- CUEボタンを押しているあいだ、頭出した音を聞くことができます。

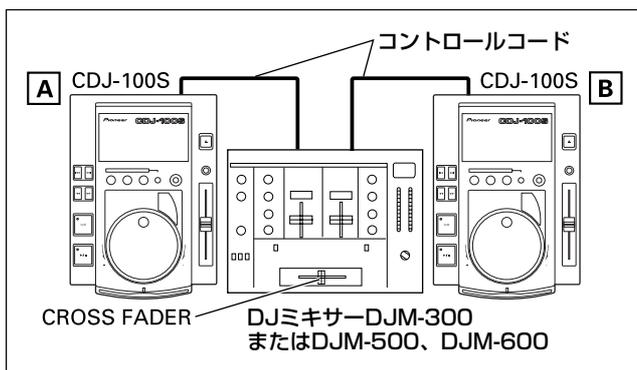
### ■ 頭出しポイントに戻るには (バックキュー)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定した頭出しポイントに戻ります。
2. PLAY/PAUSEボタン(▶/⏸)を押す。
  - 頭出したポイントから瞬時に再生します。

### ■ 頭出しポイントを修正するには (キューポイントの修正)

1. 再生中、CUEボタンを押す。
  - 設定してある頭出しポイントに戻ります。
2. SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押す。
  - 1フレーム単位で頭出しポイントが移動します(継続音が移動する)。
  - SEARCHボタン(◀◀、▶▶)を押してからジョグダイヤルを回しても頭出しポイントが移動しません(継続音が移動する)。
3. CUEボタンを押す。
  - CUEボタンを押したところが新しい頭出しポイントになります。

## フェーダースタートプレイを楽しむ



本機のコントロール端子(CONTROL)とDJミキサーDJM-500(別売)、DJM-600(別売)またはDJM-300(別売)のコントロール端子(CONTROL)を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレイヤーのCUEスタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレイヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレイヤーをキューポイントまで戻す(バックキューする)ことができます。

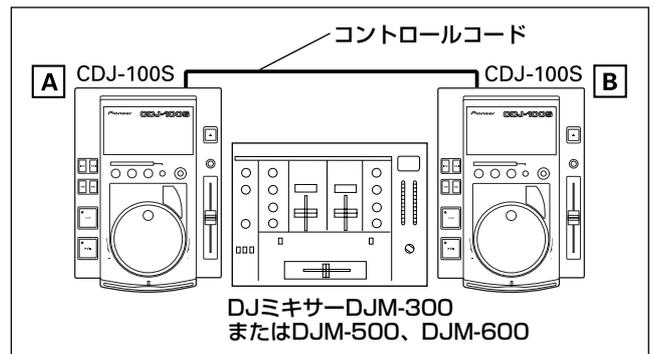
次の操作はDJミキサーで行います。接続と操作の詳細は、DJミキサーの取扱説明書をご覧ください。

- ① CROSS FADERスイッチをONにします。
- ② FADER STARTスイッチをONにします。
- ③ “A”がキューポイントでスタンバイの時、CROSS FADERつまみを右端から左に動かすだけで“A”がスタートします。
- ④ “B”がキューポイントでスタンバイの時、CROSS FADERつまみを左端から右に動かすだけで“B”がスタートします。それと同時に“A”がバックキューします(キューポイントに戻ります)。

### ご注意

フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。

## 2台のプレイヤーを使ったリレープレイ



本機および他のCDJシリーズのCDプレイヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続するとリレープレイが可能になります。

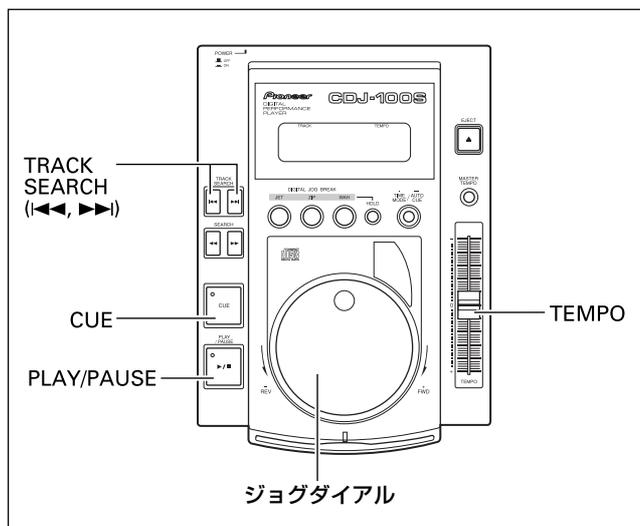
- 2台のプレイヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のAUTO CUEインジケータが点灯)。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に演奏するプレイヤーの演奏を開始する。
2. 演奏中の曲が終了すると、待機中のプレイヤーが自動的に演奏を開始する。
3. 始めに演奏していたプレイヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。
  - この繰り返しにより、自動的に2台のプレイヤーでの交互演奏ができます。
  - 待機中のプレイヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と演奏することができます。
  - 待機中のプレイヤーでキューポイントを設定しておく、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。(10ページ「キューポイントの設定」参照)

### ご注意

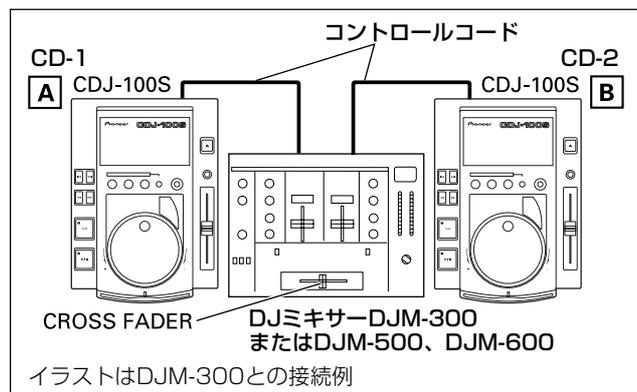
- 2台のプレイヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。
- 演奏中のプレイヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレイヤーが演奏をはじめることがあります。

# 違う曲どうしをミックスする(つなぎ)



(例) 現在スピーカーから音が出ている曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- CD1をDJミキサーのCH1へ、CD2をCH2へ接続します。
  - トリム、CHフェーダー、マスターVRを適当な位置まで上げ、CD1の音が出るようにします。
1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH1側)にしておく。
    - 曲Aがスピーカーから出ています。
  2. プレーヤーCD2にCDをセットする。
  3. プレーヤーCD2のTRACK SEARCHボタン(◀◀, ▶▶)を押して曲Bを選ぶ。
  4. DJミキサーのMONITOR SELECTORボタンを操作してCH2をモニターする。
  5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。
  6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。
    - ① プレーヤーCD2の再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
      - 音出しポーズ状態になります。
    - ② プレーヤーCD2のジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。
    - ③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。
      - 無音になり、頭出しを完了します。
  7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。
    - スピーカーからは曲Aだけの音がでています。
    - ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。



## 8. プレーヤーのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Per Minutes)を合わせる。

- ① DJミキサーに曲のBPMを表示させる(DJM-300およびDJM-500、DJM-600の場合)。
  - DJミキサーの操作については、DJミキサーの取扱説明書をご覧ください。
- ② 曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーCD2のTEMPOつまみを動かす。
  - BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。

## 9. プレーヤーCD2のCUEボタンを押す。

- プレーヤーCD2は頭出しポイントでスタンバイ状態になります。

## 10. プレーヤーCD1の曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーCD2のPLAY/PAUSEボタン(▶/||)を押す。

- 曲Bがスタートします。

## 11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのCROSS FADERつまみを徐々に右側に動かす。

- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- DJミキサーのCROSS FADERつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

### ■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、CROSS FADERつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

### ■ フェーダースタートプレイ

DJM-600/DJM-500/DJM-300のクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。

さらに、CROSS FADERつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

本製品を使ってそのほかにもいろいろな組み合わせのオリジナルテクニックを生み出してください。

## 故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症 状	考えられる原因	処 置
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードがつながっていない。</li> <li>● EJECTボタンが機能しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コンセントへつなぐ。</li> <li>● 3ページ参照。</li> </ul>
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクの表と裏を逆にして装着している。</li> <li>● ディスクのくもりなど。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レーベル面を上にして装着する。</li> <li>● ディスクのくもりをふき取る。</li> </ul>
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。</li> <li>● オーディオミキサーを正しく操作していない。</li> <li>● 接続のための端子やプラグが汚れている。</li> <li>● プレーヤーがポーズモードになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続する。</li> <li>● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。</li> <li>● 汚れをふき取って接続する。</li> <li>● PLAY/PAUSEボタンを押して、演奏する。</li> </ul>
音が歪む、雑音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出力コードが正しく接続されていない。</li> <li>● 接続のための端子やプラグが汚れている。</li> <li>● テレビからの影響を受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。</li> <li>● 汚れをふき取って接続する。</li> <li>● テレビの電源を切る。または本機を離す。</li> </ul>
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクに大きなキズやそりがある。</li> <li>● ディスクが極端に汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクを交換する。</li> <li>● ディスクの汚れをふき取る。</li> </ul>
オートキュー機能をオンにしている、トラックサーチが終了しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。</li> <li>● 無音部分が10秒以上続くような場合、オートキュー機能がオフでないと演奏しない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。</li> </ul>
演奏中にCUEボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイントを設定していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キューポイントを設定する。(10ページ参照)</li> </ul>
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機が影響している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源を切るか、テレビから離す。</li> </ul>
電源ONの状態でもディスクが停止している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ポーズ状態で80分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PLAY/PAUSEボタンを押すと演奏を開始します。また、EJECTボタンを押すとディスクが出てきます。</li> </ul>

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はCD-Rの未ファイナライズディスク(パーシャルディスク)の再生はできません。
- 本機は一般の12 cmディスクおよびアダプターを装着した8 cmディスク以外の異形ディスクの再生はできません。(故障・事故の原因になることがあります。)

## エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-72 01	TOC READ ERROR	20秒以上かかってもTOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 → ディスクを交換する。
E-72 02	FG PULSE ERROR	DISCが回転しているにも関わらずDISCの回転を判断できない。	ディスクが汚れている。 → ディスクをクリーニングする。
E-83 01	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E-83 02	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	
E-91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク挿入部に異物が入っている。 → 異物を取りのぞく。
E-91 03	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	

## 仕様

### 1. 一般

形式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム  
 使用ディスク ..... コンパクトディスク  
 電源 ..... AC 100 V、50/60 Hz  
 消費電力 ..... 10 W  
 動作温度 ..... +5℃～+35℃  
 動作湿度 ..... 5～85%(結露のないこと)  
 質量(重量) ..... 2.2 kg  
 最大外形寸法  
 ..... 217.7(幅)×310.7(奥行)×94.5(高さ)mm

### 2. オーディオ部

周波数特性 ..... 4 Hz ~ 20kHz(EIAJ)  
 SN比 ..... 96 dB 以上(EIAJ)

### 3. 付属品

- 取扱説明書 ..... 1
- 安全上のご注意 ..... 1
- 出力コード ..... 1
- コントロールコード ..... 1
- 8 cm CDアダプター ..... 1
- 保証書 ..... 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 ..... 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

# 保証とアフターサービスについて

## 保証書(別に添付してあります。)について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

## 保証期間と保証内容について

### ● 保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

● 次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● 故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失(逸失利益)は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打切後最低8年間保有しています。

### お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用オーディオ/ビジュアル製品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-22

● カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

<ご注意> ● PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

### 愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードにさけめやひび割れがある。
- 電気が入ったり切れたりする。
- 本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検(有料)をご依頼ください。

## 修理を依頼されるとき

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

### ● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・型番・ご購入日
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標(建物、公園など)

### ● 保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。